



「越境EC」の

実態解明と存在理由

— クロスボーダー取引の現状と課題について —



日時

2016年3月26日(土)
14:00~15:30

会場

阪南大学あべのハルカスキャンパス

講師

伊田 昌弘 (経営情報学部教授)

参加費

無料

定員

100名

訪日外国人旅行者による「爆買い」という言葉が記憶に新しいが、近年、国境を越え世界規模で消費を行う電子商取引(越境EC)が注目を浴びている。経済産業省においても、その実態解明に向けて本格的な調査に乗り出し、多くの成功事例が見えてきた。本講座では、その調査結果を踏まえ、文化や価値観も異なる国や地域の人とのビジネスがなぜ存在するのか、市場においてどれほどのポテンシャルを持っているのか、課題点はないのか、について最新の研究成果をみていきたい。